

秋の爽快フェスティバル ランフェスきたかみ

10月11日(日)に行われる「2026ランフェスきたかみ」は、走る人も走らない人も楽しめるイベントです。当日は、ランコースの交通規制などを行うので、ご協力をお願いします。

北上総合運動公園会場

抽選で、アパレルブランド「HOKA」のランニングシューズが当たる「キッズラン(小学生対象)」を開催するほか、岩手中部水道企業団の「水道フェスティバル」も同時開催します。

まちなか会場(hokko周辺)

パンをテーマにした飲食出店「パンフェスきたかみ」を開催します。また、未就学児が楽しめる企画として「親子レース」や「はいはいレース」、「運動遊びの体験会」を開催します。

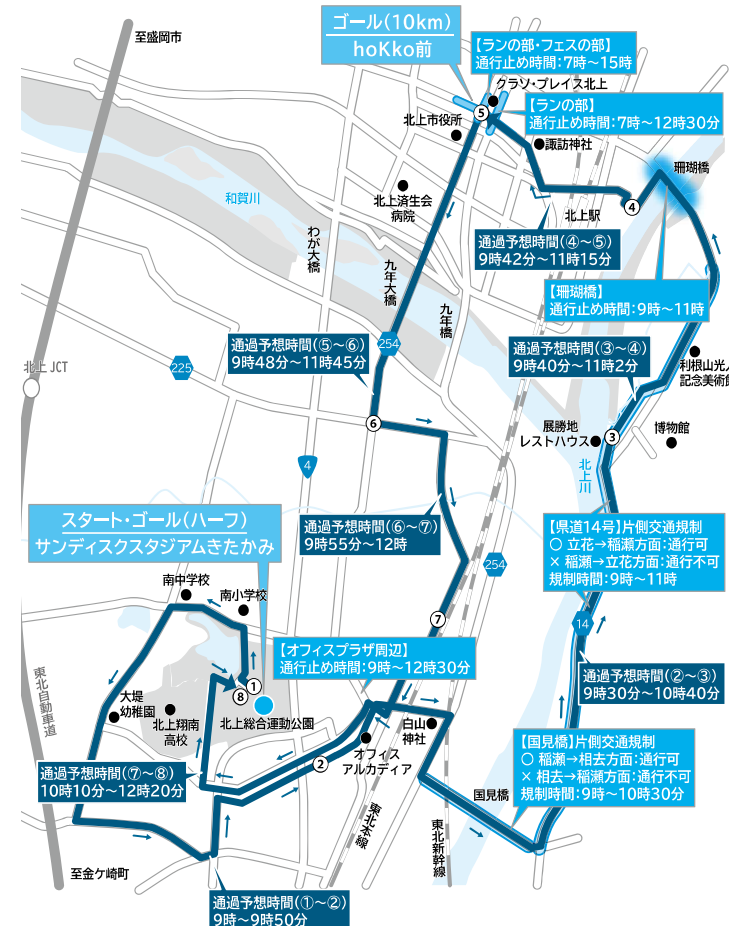
※天候などにより内容が変更になる場合がありますので、詳細はランフェスきたかみのホームページをご覧ください。



ランフェス
きたかみ
ホームページ

車で来場する人へ

北上総合運動公園内では約1,200台の無料駐車場を用意していますが、できるだけ乗り合いで来場してください。※近くのコンビニなどには絶対に駐車しないでください。



無料シャトルバスをご利用ください
当日は、来場者用の無料シャトルバスを運行します。

◆行き「市庁舎北側駐車場」北上総合運動公園「北上駅東口」10時30分
◆帰り「北上総合運動公園」北上駅東口

口「市庁舎北側駐車場」11時～14時15分
交通規制などのお知らせ
ランナー通過予想時間(地図上に記載の時間)の間に交通規制を行います。また、コース付近の5カ所では車両が通れなくなるので、ご注意ください。

※無料シャトルバスの詳しい時刻表や、交通規制の詳細はランフェスきたかみのホームページをご覧ください。
◆問い合わせ：ランフェスきたかみ実行委員会(事務局)スポーツ推進課 ☎72-82270

【北上総合運動公園会場ステージイベントの内容】

時間	内容
11時30分～	こども鬼剣舞(あいさり認定こども園、おにやなぎ保育園)、相去鬼剣舞
12時10分～	北上チアリーディングクラブDIAMONDS
12時30分～	元・箱根駅伝ランナー榊ワガスポの佐藤慎巳氏によるトークショー

【まちなか会場イベントの内容】

時間	内容
8時55分～	親子レース、ファミリーレース
9時20分～	コナミスポーツクラブ北上キッズダンス
11時～	はいはいレース、運動遊び体験会
13時～	専修大学北上高校吹奏楽部
13時30分～	親子パラバールン体験会

【ランの部】

種目	時間	発着場所
ハーフ (21.0975km)	9時～12時30分	サンディスクスタジアムきたかみ発着
10km	9時30分～11時30分	サンディスクスタジアムきたかみ発 hokko前着

【フェスの部】

内容	時間	会場
食フェス アルコール、おつまみ、ホットサンドなどを販売	9時～14時	北上総合運動公園
水道フェスティバル 水道キャラクター「しわぼん」グリーティング、水道検針業務体験、わくわくミニ重機体験など	9時～14時	
キッズラン(小学生対象・2km)	9時35分～	
ステージイベント(詳細は左表のとおり)	11時30分～13時30分	
パンフェスきたかみ	9時～14時	まちなか会場(hokko内、クラソ・プレイス北上南側広場)
まちなか会場イベント(詳細は左表のとおり)	8時55分～14時	まちなか会場(hokko周辺)

園児数減少に関する対応を説明します

江釣子幼稚園の対応に関する説明会

江釣子幼稚園は、近年、園児数が減少しており、教育上必要な集団規模を確保できない状況です。このため、令和9年4月に、最寄りの公立園である鳩岡崎保育園を、幼稚園機能を持たせた認定こども園へ移行することを計画しています。これに伴い、江釣子幼稚園

園は令和9年3月末で閉園する方向で検討を進めています。今回、本内容の説明会を開催します。
■とき：9月29日(火)18時30分～19時30分
■ところ：江釣子地区交流センター
◆問い合わせ：子育て支援課 ☎72-82600



市ホームページ

くらしと福祉の新しいつながりが発見できる くらし×福祉みらいつなぐマルシェ

福祉施設が一つ一つ丁寧に作った雑貨やスイーツなど、バラエティー豊かな商品がそろったマルシェやワークショップ、活動紹介などを行うイベントです。
■とき：10月3日(土)4日(日)10時～15時
■ところ：江釣子ショッピングセンター1F
◆内容：「マルシェブース」パンや野菜、お菓子、総菜、漬物やみそなどの加工食品、コヒビ、手芸品、アクセサリーなど「ワークショップブース(4日のみ)」プレスレット作り、ワークナー、療育体験コーナーなど

◆問い合わせ：北上市障がい者福祉実行委員会(事務局)障がい福祉課 ☎72-82214
◆問い合わせ：北上市障がい者福祉実行委員会(事務局)障がい福祉課 ☎72-82214



市ホームページ



申し込みフォーム

10月から第1号被保険者の子育てを支援します

国民年金保険料の育児免除制度

10月1日から、国民年金第1号被保険者の育児期間中の保険料の免除を受けられる制度が始まります。子を養育する父母・養父母は、申請により保険料が免除されます。

■対象期間：子の誕生日から1歳になる誕生日の前月まで（最大12カ月）

※ただし、免除の対象となるのは10月分の保険料からです。

■対象：子と同一住所で妻子または養子を養育している国民年金第1号被保険者（自営業者・農業者・アルバイト・無職の人など）である父母・養父母

■免除額（本年度）：月額1万7920円

※育児免除期間は保険料納付済み期間として算入されるため、納付した場合と同様に将来の年金額に反映されます。

■申請方法：10月1日(木)からマイナポータルによる電子申請または、国民年金課の窓口へ

※詳細は日本年金機構のホームページをご覧ください。

■問い合わせ：国民年金課 72-18204



日本年金機構ホームページ

認知症の人が見ている世界を体験してみませんか

VR認知症体験会

VR機器を装着し、認知症の人の視点で周りの見え方や感じ方を疑似体験できます。機器の装着が難しい場合はモニター映像を見ながら説明を聞くことができます。

■とき：10月14日(水)14時～15時30分

■ところ：hokori階ふれあいホール

■対象：市内在住または通勤、通学し

ている18歳以上の人

■定員：30人（先着順）

■申し込み：9月30日(木)までに申し込みフォームまたは電話で長寿介護課へ

■問い合わせ：長寿介護課 72-18221



申し込みフォーム

未就学児1人当たり8000円を支給します

子育て世帯食料費応援給付金

食料費の高騰による子育て世帯の負担を軽減するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し給付金を支給します。

対象世帯には通知書を送付しますので、内容を確認の上、手続きをしてください。

■対象：9月1日現在で、本市に住民登録がある未就学児

※9月1日までに転入または出生し、14日以内に届け出を済ませている場合も対象です。

■給付額：未就学児1人当たり8千円

※DVなどを理由に、本市に避難している住民登録がない人でも、対象となる場合があります。子育て支援課にお問い合わせください。

※支給方法などの詳細は、市のホームページをご覧ください。

■問い合わせ：子育て支援課 72-18260



市ホームページ

振り込みで認定の継続をご確認ください

児童手当現況届の認定通知書

児童手当現況届の認定通知書は、受給額に変更がない場合は送付を省略しています。10月以降の振り込みで認定の継続をご確認ください。

なお、世帯状況の変更などにより受給額が変更となった人には、通知書を送付します。

※勤務先などから、児童手当の受給額が分かる書類の提出を求められた場合

は、子育て支援課へお問い合わせください。

※児童手当の制度や申請方法などの詳細は、市のホームページをご覧ください。

■問い合わせ：子育て支援課 72-18261



市ホームページ

市の情報を受け取れる手段が増えました

市公式Xの運用を開始

市の情報をより多くの皆さんに届けるため、市公式X（エックス）の運用を開始しました。

市政情報や防災情報、イベント・観光など、北上市に関するさまざまな情報を発信します。

Xを利用している人は、ぜひ市公式アカウントをフォローし、日々の情報収集にご活用ください。



市ホームページ



市公式X

最高裁判決を踏まえ、過去に受給していた人が対象です

生活保護費などの追加給付

平成25年に実施した生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえ、国の方針に基づき、対象世帯へ生活保護費などを追加給付します。

■対象：平成25年8月から令和8年3月までに、本市で生活保護を受給していたことがある世帯（現在停止中・廃止した世帯を含む）

■申請が必要な世帯：現在、生活保護を受給していない（受給中の世帯は申し出不要・順次支給）

■申請方法：令和9年7月31日(土)（当日消印有効）までに、必要書類を添え

て郵送（〒024-18501住所記載不要・担当課記載）または、地域福祉課の窓口へ

※他の自治体で生活保護を受給していたことのある世帯は、当時の世帯主が当該自治体へ申請してください。

※対象となる条件や必要書類などの詳細は、市のホームページをご覧ください。

■問い合わせ：地域福祉課 72-18213



市ホームページ

お元気ですか市長です。

㊦



北上市長 八重樫 浩文

黒陵應援部の想ひ出

高校時代、一時、應援部に所属していました。当時、1学年は各クラスから秋までにサブリーダーを2人ずつ出すことになっていました。入学時からパンカラの應援部に憧れていたI君以外に立候補者がいなかったため、学級委員だった私が責任を取る形で、1年限りのつもりで入部した次第です。

実は、入学後は陸上部に入っていました。が、中学校まで自信があった走り幅跳びの記録も伸びず、入部して2カ月ほどで退部し、文化部に所属していました。應援部に入ったのは、ちょうどその頃です。

当時の私は、極度のあがり症でした。中学校時代の音楽の試験は、クラス全員の前で行われ、先生のピアノ伴奏に合わせて独唱する形式でした。しかし、私は全く声が出ず、成績は5段階評価で1か2でした。音楽は大の苦手、人前で歌うなんてあり得ない、という感じでした。

ところが、應援部ではそうも言っていない。

ていられません。朝早くから校舎の屋上で、2年生リーダーの指導のもと、「セー」という発声や応援歌ががなり立てました。そのおかげで、引つ込み思案だった性格が一変しました。というより、そうならざるを得ませんでした。

2年生に進級して、新入生を迎えての応援歌練習を無事終えて退部し、以前から誘いのあった山岳部に入部しました。退部はしましたが、その後も應援部メンバーとの交流は続いています。

應援部での一番の思い出は、雪のちらつく真冬に、げた履きで、校舎から男山までリアカリに太鼓や台座、旗を乗せて運び、「やすらぎの像」の前で、展勝地と北上川を望みながら応援歌を奉納したことです。

現在は、女性部員も多くなり、活動を盛り上げていると聞いています。ぜひ、伝統のパンカラ精神を次代につなげてほしいと期待しています。